



# J-POWER GROUP INTEGRATED REPORT 2025

J-POWERグループ 統合報告書



## — Purpose

### J-POWERグループの企業理念

#### 使命

わたしたちは  
人々の求めるエネルギーを不断に提供し、  
日本と世界の持続可能な発展に貢献する。

#### 信条

- | 誠実と誇り | 誠実と誇りを、すべての企業活動の原点とする
- | 共に生きる | 環境との調和をはかり、地域の信頼に生きる
- | 成長する | 利益を成長の源泉とし、その成果を社会と共に分かち合う
- | 磨き続ける | 自らをつねに磨き、知恵と技術のさきがけとなる
- | 挑戦する | 豊かな個性と情熱をひとつにし、明日に挑戦する

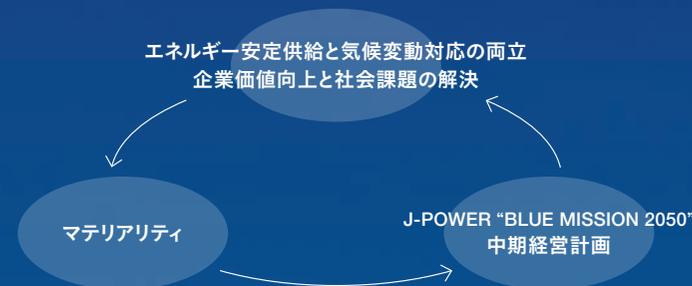
## — Mission

### エネルギー安定供給と気候変動対応の両立

J-POWERグループは2050年に向けてエネルギー供給を維持しながらカーボンニュートラルに移行することで、地球に暮らす人類とその文明の持続可能な発展を実現していきます。

## — Strategy

社会課題などから5つのマテリアリティを抽出しています。マテリアリティ達成に向けた長期戦略であるJ-POWER“BLUE MISSION 2050”の下、事業活動を通じて持続的な企業価値向上と社会課題の解決の両立を目指していきます。



## — Action

再生可能エネルギーや原子力などCO<sub>2</sub>フリーのエネルギーを重点的に開発します。また、電力ネットワークの増強と火力のトランジションを通じて、エネルギーの安定供給とカーボンニュートラルへの移行を着実に進めていきます。

CO<sub>2</sub>フリー  
電源の拡大

+

電源の  
ゼロエミッション化

+

電力ネットワークの  
安定化・増強

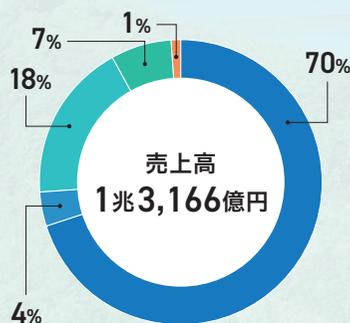
# — At a glance

【2025年3月末】

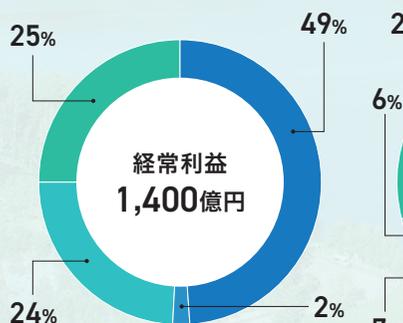
## セグメント別事業概要

■ 発電事業 ■ 送变电事業 ■ 電力周辺関連事業 ■ 海外事業 ■ その他の事業

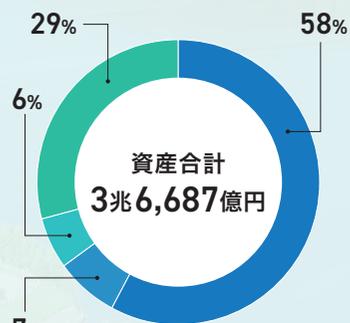
セグメント別売上高



セグメント別経常利益



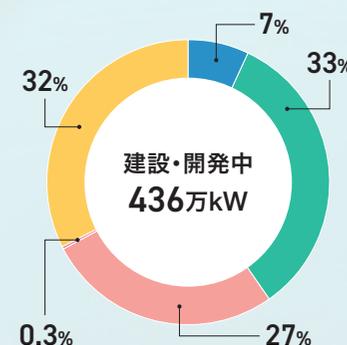
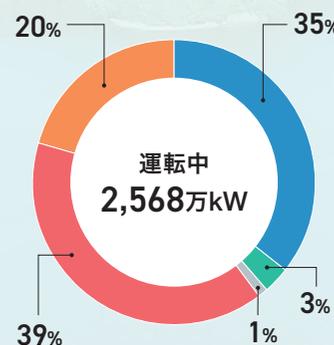
セグメント別資産合計



## グローバル設備出力(持分出力ベース)

■ 水力 ■ 風力 ■ 石炭 ■ ガス ■ その他 ■ 水力 ■ 風力 ■ 太陽光 ■ 地熱 ■ 原子力

バランスの取れたポートフォリオ



### 自己資本比率

安定した財務基盤

**36.4%**

### 再生可能エネルギーのトップランナー

国内設備出力シェア

水力 **2位** 風力 **2位**

### 海外での発電事業

**7**カ国・地域 / **43**プロジェクト

(建設・開発中～運転中)

### 販売電力量

約**860**億kWh

国内約680\*億kWh、海外約180億kWh

\*国内需要の約8%に相当

\*卸電力取引市場等から調達した電力の販売を含む。

### 日本全土を繋ぐ電力ネットワーク

送電線巨長

約**2,400**km

変電所・変換所

**9**カ所

### 海外での技術コンサルティング

60年以上の実績

**64**カ国・地域 / **376**プロジェクト

📖 P.38 財務・非財務ハイライト

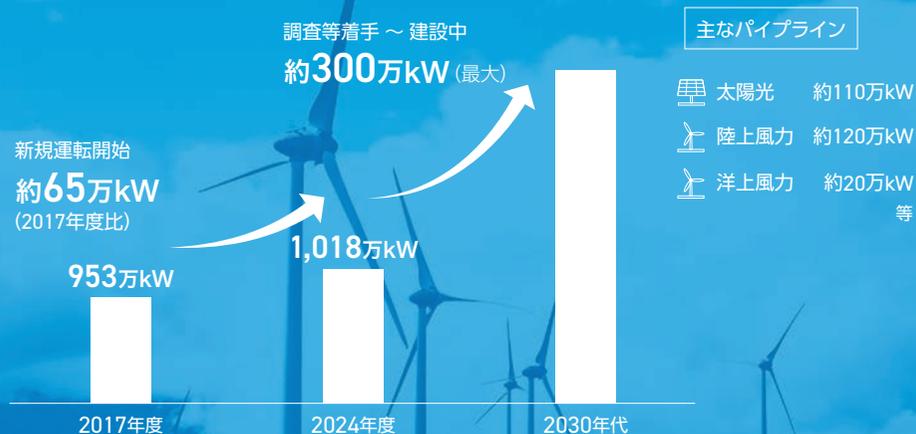
# — At a glance

## 再生可能エネルギーの総合トップランナー

### 70年以上の事業で培った総合的な技術力

調査、案件開発、立地、建設、運転、保守点検、電力販売、ポートフォリオマネジメント

### 国内外での着実な開発実績



## 火力トランジション技術

バイオマス混焼 → 商用機で10%混焼実施中

石炭・バイオマスからの水素製造 → 実証済み・商用化検討中

水素ガスを使ったIGCC発電 → 実証済み・商用化準備中

国内での大規模CCS実施 → 事業化に向けた調査準備中

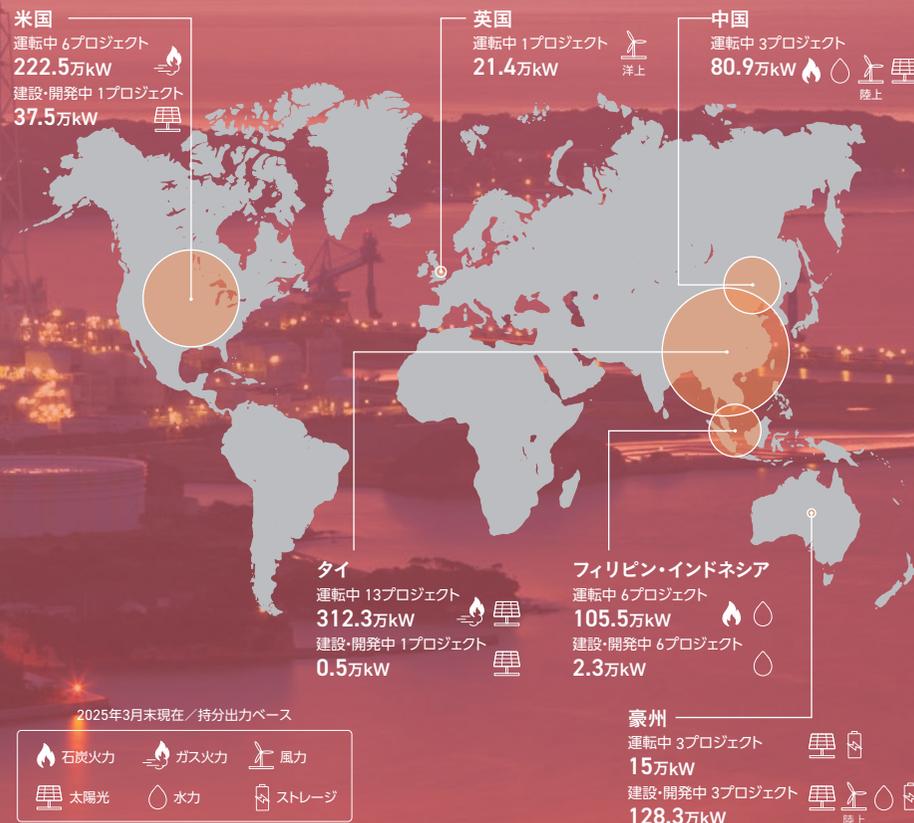
水素・アンモニアの発電利用 → 導入検討中

## グローバルな事業基盤

### 安定した事業運営

- ・長期PPA締結による安定収益とマーケットの活用
- ・連結経常利益に占める海外事業セグメント割合24.6% (2024年度実績)
- ・多様なビジネスモデル (自社開発・パートナーとの協業・コンサルティング・O&Mサービス等)

### 開発者利益の獲得と新たな再生可能エネルギーの開発拡大



# 目次

## イントロダクション

J-POWERの企業理念（パーパス）	01
At a glance	02
編集方針・目次	04
社長メッセージ	05

## CHAPTER 1

### J-POWERグループが提供する価値

J-POWERグループの価値創造の歴史	11
価値創造プロセス	12
ビジネスモデル	14
サステナビリティの推進・マネジメント	15
リスクと機会、マテリアリティ	17
マテリアリティ目標（KPI）の進捗状況	18
価値関連性分析（非財務価値の可視化）	20

## CHAPTER 2

### J-POWERグループの戦略と事業

国内電気事業をとりまく環境	22
カーボンニュートラルに向けた政策動向	23
J-POWER “BLUE MISSION 2050”	25
中期経営計画2024-2026	26
カーボンニュートラルに向けた取り組み	27
財務面での取り組み	34
財務・非財務ハイライト	38
J-POWERグループの事業	40
DXの推進	45
技術開発・知的財産／イノベーションの推進	47

## CHAPTER 3

### 気候変動対応

気候変動シナリオ分析（TCFD提言に基づく開示）	49
--------------------------	----

## CHAPTER 4

### 価値創出を支える取り組み

J-POWERグループと環境	64
地域環境との共生	65
TNFD提言に基づく情報開示	67
地域社会との共生	73
人権尊重の取り組み	75
サプライチェーンマネジメント	77
グループの競争力を高める人財戦略	78
人財育成・マネジメント	79
多様な人財が活躍する職場づくり	81
労働安全衛生・健康経営	85
コーポレート・ガバナンス	87
社外取締役インタビュー	94
リスクマネジメント	96
コンプライアンス	98
危機管理	100
役員一覧	102

## CHAPTER 5

### データセクション

7ヵ年間財務データ	106
連結財務諸表	108
独立した第三者保証報告書	110
ESGデータ	111
主要グループ会社一覧	117
J-POWERグループ設備一覧	119
社外からの評価／真正表明	124
会社概要・株式情報	125

## 編集方針

J-POWERグループは2019年度より、「統合報告書」の発行を開始しました。本書では、当社が社会に提供する価値をどう実現し、同時に企業価値向上につなげていくかを、皆様に分かりやすくお伝えするために、財務情報、非財務情報を体系的にまとめるよう努めました。

### 報告期間（報告サイクル）

2024年4月1日～2025年3月31日（1年）  
※報告期間以降の重要事項についても報告しています

### 前回発行日

2024年9月6日

### 参考にしたガイドライン等

- GRIスタンダード（GRI）
- 国際統合報告フレームワーク（IFRS財団）
- SASBスタンダード（IFRS財団）
- 価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス（経済産業省）

### 将来見通しに関する注意事項

本書に掲載されている計画、戦略、見込み等は、現在入手可能な情報に基づく当社の判断により作成されています。したがって、今後生ずるさまざまな要素の変化により異なる結果になる可能性があります。

### 金額等の表示について

金額および販売電力量については表示単位未満を切り捨てています。その他の単位の数値は、特に注記のない場合、表示単位未満を四捨五入しています。そのため、構成比（%）において合計が100とならない場合があります。

## 情報開示体系

